

ともしび



第146号

平成30号1月1日

題字は(故)黒川利雄博士

検診の 特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理

早期発見
早期治療

グー子ちゃん



がん検診は
定期的!

がん助くん

宮城県がん征圧イメージキャラクター

石巻市



栗原市



大崎市



色麻町



柴田町



丸森町



利府町



県内各地で市町村健康まつりが開催されました

目次

新年のご挨拶	2
久道会長受賞	3
事務局長就任にあたって	4
イベント報告	5
第50回みやぎよろこびの会記念大会	8
この課にチューモク	10
健康へのススメ	11
人間ドックPR	12
ご寄付をいただいた方々・継続寄付のお願い	13
「黒川利雄がん研究基金」研究助成金希望者募集	16

新春のご挨拶

公益財団法人
宮城県対がん協会

会長 久道 茂



新年明けましておめでとうございます。

当協会は、昭和33年の創設以来「がん征圧」を設立目標にかかげ、東北大学をはじめとして、宮城県医師会、県市町村、経済界等関係団体、検診実施主体の皆様のご指導、ご協力をいただきながら、がんの1次予防、がんの早期発見と治療に関する研究とその助成、啓発活動、検診事業及びがん患者やその家族への相談支援などを進めてまいりました。これまで多くの方々ががん死亡から救命しております。

しかし、いまだに日本人の死因の第一位はがんです。昨年9月国立がん研究センターが「2017年がん統計予測」を発表しました。罹患数予測では101万4000人、死亡数予測では37万8000人でした。罹患予測が100万人を超える時代を迎えたことになります。がん対策がいかに重要かお分かりでしょう。

1次予防では喫煙対策が最も重要ですが、オリンピックを控えているというのに、国会や都道府県議会の議論は遅々として進まず国際的にも恥ずかしい限りです。2次予防としてのがん検診は、一見全国的に広がっているように見えますが、その受診率は50%を超えるのに四苦八苦しています。早期がんはもちろんですが、進行がんであっても手遅れでない時期のものには最近のがん治療の効果は目覚ましいものがあります。上述した国立がん研究センターの発表を見ても、かつては難治がんと言われてきた肺がん、膵がんの治療成績が格段の進歩を示しています。例えば、がんサバイバー生存率(がんと診断されてからの年数別の生存率)を5年相対生存率(=実測生存率/期待生存率)で見ると、胃がんや大腸がんは90%以上と高く、一方、比較的生存率が低い膵がん、肺がんでも診断から5年後サバイバーの5年相対生存率は80%近くに向上しているのです。希望が湧いてくる数値ではありませんか。

ところが、ここ数年間は胃がんの受診者数が減少しており、これは全国的な傾向で宮城県でも減少しているのです。由々しきことです。胃がんは治るがんだからと安心しているのではないのでしょうか?でも安心は禁物です。2017年の予測値では、胃がんの罹患数は男女合わせて132,800人(第2位)、死亡数は47,400人(第3位)で、決して手を緩めては駄目ながんなのです。マスメディアでは女性の乳がんばかり取り上げていますが、乳がんの罹患数は89,100人、死亡は14,400人です。国民個人も市町村も、そしてマスメディアも胃がんにもっと注意を向けて対策の手を緩めてはならないのです。

山上の光賞

「山上の光賞」とは、日本の広範な健康・医療分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している75歳以上の方々を顕彰するものです。高齢化社会を抱える日本では、高齢と言うととにかくネガティブな話ばかりを耳にしがちです。しかしながら、その対極には日本の高齢者が素晴らしい活躍をされている数多くの偉大なストーリーがあります。そこで、高齢を迎えてなお、その豊富な経験、知性、そして知識を駆使しながら、後に続く世代の歩むべき道を照らす「山上の光」として活躍を続けておられる方々を顕彰することにより、更に多くの日本のシニアを勇気づけ、活発な社会の一員として活動し続けることの素晴らしさを伝えることを目指しています。全国から募集する候補者の選考は、共催団体、事務局からは独立した審査委員会によって厳正に行われました。候補者の活動が賞賛に値するものであるかを重視し、過去に多くの顕彰を受けている活動や逆に「縁の下の力持ち」的な活動であまり世間に知られていない活動も対象とし

ています。また、それぞれの活動が人々の健康や医療に与えたインパクトが重要であると考え、長年にわたる活動、短期的な活動も共に対象となっています。その結果、「公衆衛生の促進への貢献」の部門で当協会の久道会長が「山上の光賞」の栄誉に輝き、6月8日に受賞となりました。久道会長おめでとうございます。



朝日がん大賞

9月8日、金沢市で開催された、がん征圧全国大会にて、当協会の久道会長が「朝日がん大賞」を受賞しました。久道会長は、日本のがん検診を科学的根拠に基づいて進めるために、がん検診の有効性評価に関する研究を推進しました。厚生労働省「各種がん検診の有効性評価に関する研究班」の主任研究者として1998年にまとめた報告書で、日本におけるがん検診の方向性に明確な指針を示されました。

また、宮城県における地域がん登録を利用した大規模疫学研究も推進し、日本のがん疫学研究の発展に寄与するとともに、日本のがん予防政策を検討するうえでの多くの資料を提供しました。国が設置したがんに関する審議会や各種委員会の委員を歴任し、がん対策の政策提言にも参画しました。今回の受賞は、日本のがん検診およびがん予防の分野で長年にわたって大きな貢献をしてきた功績が評価され受賞になりました。



事務局長就任にあたって

公益財団法人
宮城県対がん協会
阿 部 洋



この度、公益財団法人宮城県対がん協会の理事会および評議員会の議決により、平成29年7月1日より業務執行理事・事務局長を拝命することとなりました。

未熟で経験に乏しい私にとっては身に余る重責であり、はたして自分が期待に応えられるのか自問自答を繰り返しながら数か月を過ごし、ついに7月を迎えてしまったというのが率直な気持ちでした。

就任から間もなく5カ月を迎えようとしておりますが、事業推進の重さを感じながら日々の業務に追われております。

しかし、私にこのような大役の白羽の矢がたったのはきっと何らかの理由があったのだと自己暗示に努め、誠心誠意、愚直に自分らしく、この過分な役職と向き合っていきたいと考えております。

平成30年の9月で当協会は創立60周年の節目を迎えることとなります。

当協会の胃がん検診は、昭和35年に全国に先駆けて巡回検診を開始して以来、各種がん検診（一次）・精密検査・治療への誘導・事後管理までの一貫した検診体系で全国モデルにもなっている「宮城方式」を継承しながら、精度管理を重視した科学的根拠に基づくがん検診を基調として検診計画を策定してまいりました。

国は平成29年、第3期がん対策推進基本計画を策定し全体目標を「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」と謳っております。さらにその目標を実現するための施策として①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築を柱として提示しております。

がんによる死亡を減少させるためには、死亡率減少効果が認められた科学的根拠に基づくがん検診をより多くの方々に受診していただく必要があります。そのためには県民の皆様ががん検診に対する正しい知識を持ってもらい検診を受けていただくことが必要となってまいります。当協会にとっては県民の皆

様に対しがん予防等に関する普及啓発のための活動や講演・健康教育等を通じて、検診の必要性を的確に伝えて、受診の機会をサポートするための環境づくりを講じていくことも重要な役割のひとつであると考えております。

残念なことに昨年度（28年度）における当協会の胃がんX線検診は、あの東日本大震災が発生した平成23年度よりも少ない受診数にとどまり、今年度も減少傾向が続いております。理由はいろいろあるとは思いますが任意型検診における内視鏡検査の浸透やピロリ菌除菌者の増加、検診受診状況における高齢者の割合が年々高くなってきていることなども要因の一つと考えられ、今後はX線検診の受診数拡大策を講じながら、対策型の胃がん内視鏡検診への対応も求められる状況となっております。

胃がん検診のみならず、乳がん検診における40歳代への超音波検査の導入や子宮がん検診におけるHPV検査併用など新しい検査手法の導入を控えて、対策型のがん検診は過渡期を迎えようとしております。

そのような中、当協会のがん検診センターは1981年の建設で今年築年数37年を数えようとしており、ここ数年の懸念事項である新しいがん検診センターの建設準備に向けて、昨年からの職員による建設準備委員会もスタートしたところです。

これら各種がん検診の新しい検査方法を見極め、各種対策委員会・診断委員会のご指導の下、新しい時代のニーズに対応できる機能を兼ね備えたセンター建設も視野に入れることが出来るよう職員の皆様と山積された課題に取り組んでまいりたいと思っています。

偉大な先輩たちが築き上げてきたこの公益財団法人宮城県対がん協会の輝かしい歴史を汚さず、微力ではありますが少しでもお役にたてるよう力を注いでまいりますのでご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

イベント報告

がん征圧全国大会

がん征圧全国大会が9月8日（金）金沢市の本多の森ホールにて開催されました。

今回の大会は「“いしかわ”から発診 がん征圧でかがやきの未来へ」をテーマに全国の支部関係者をはじめ、石川県内の医療機関関係者や患者団体、大学生等約1,200名の参加となりました。

朝日がん大賞は、当協会から久道茂会長が選ばれました。久道会長は日本のがん検診を科学的根拠に基づいて実施するため、がん検診の有効性の評価法を確立した功績が認められ、栄えある受賞となりました。日本対がん協会賞は個人6名と1団体、がん征圧スローガン入選者、永年勤続者の各表彰が執り行われました。

また、前日に開かれた記念シンポジウムでは、同じく当協会の加藤勝章先生が講師として講演を行い、宮城県色の強い大会に感じられました。

記念講演では、タレントのアグネス・チャンさん

が「明るくさわやかに生きる～アグネスが見つめた生命～」と題し、自らの体験を交えた記念講演を行い、時期開催地の千葉県の支部から挨拶で幕を閉じました。



がん講演会及びパネル展

平成29年度がん征圧月間行事の「がん講演会」及び「がん予防パネル展」が青葉区中央の仙台市シルバーセンター交流ホールにおいて開催されました。

今年の「がん講演会」は例年と違い、2人に1人はがんになる時代「あなたは誰に相談する？」をテーマにパネルディスカッション形式で行いました。座長は、宮城県立がんセンター副院長の藤谷恒明先生、パネリストは、宮城県立がんセンターがん相談支援センター相談員の星真紀子氏、宮城県がん総合支援センター相談員の田村久美子氏、患者の立場から2名の合計4名の構成でした。

はじめに、藤谷先生から、宮城県内のがん診療拠点病院等にごがん相談窓口があるにも関わらず国民やがん患者・家族に広く利用されているとは言えない現状をお話いただき、パネリストからは、支援センターの紹介や自分たちの体験談等を発表していただきました。参加者は幅広い年齢層で熱心に講演会に参加していました。今後、が

ん相談窓口が広く活用されることを期待したいと思います。

ホールロビーで行った「がん予防パネル展」では、県内のがん相談支援センターからの掲示やパネル、模型等の展示を行った他、胃ファイバースコープの操作体験や顕微鏡でがん細胞を覗いたり、乳房の視触診模型を使って良性悪性のしこりを実際に触っての体験をしていただきました。



リレー・フォー・ライフ

8月26日(土)～8月27日(日)に第9回となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン2017みやぎが仙台市青葉区にある仙台国際センター内せんだい青葉山交流広場で開催されました。当日の朝は生憎の雨模様でしたが、開催時間が近づくにつれ雨は小降りになり、オープニングセレモニーが始まる12時には眩しいくらいの太陽と青空が広がっていました。初日は多くの催し事がありましたが、特に心に残ったのは、サバイバー、ケアギバーの方々のサバイバーストークでした。当協会は、ブースとチームの両方で参加し、ブースでは、

がん予防に関する啓発を行い、チームでは「命のリレー」の襷を24時間繋ぐことが出来ました。閉会式では、また来年もリレーの輪を繋ぐことを約束し、終了しました。



ピンクリボンオープニングセレモニー

10月1日(日)秋晴れの快晴の元、ピンクリボンオープニングセレモニーが開催されました。例年、藤崎デパート前にて行っていましたが、今年は、広瀬通仙台ガスプラザの敷地内での開催です。仙台消防局の音楽隊の演奏、仙台ガールズプロレスリングのパフォーマンス、多くのキャラクター参加で会場は盛り上がりしました。

セレモニーの後、参加者全員で仙台駅前ペDESTリアンデッキに移動し、多くの人々に乳がん検診のアピールと、10月28日(土)ピンクリボンスマイルウォークの参加を呼びかけました。



ピンクリボンスマイルウォーク仙台 2017

乳がんの早期発見・早期治療の大切さを訴える「ピンクリボンスマイルウォーク仙台大会」が10月28日(土)に勾当台公園いこいのひろばで開催されました。昨年は風が強かったものの晴天の中での開催でしたが、今年は曇りで、10月にしては少々肌寒くウォークには適した気候で行われました。

当日は、5キロに1,150人、10キロに700人、合計1,850人がピンクのゼッケンを身に着けて、歩きながら乳がん検診の大切さをアピールしました。昨年より50名ほど参加者が減りましたが、このイベントでの啓発活動が定着しているかのような活気に満ちた様子だったと思います。

また、午後は、ゲストに仙台市出身で女優の杜けあきさん、前東北大学教授で登米市病院事業管理

者の大内憲明先生をお招きしトークショーが開催され、乳がん検診の大切さを伝える興味深い内容で、大勢の参加者が熱心に耳を傾けていました。



画像提供:
日本対がん協会

一番町啓発行進

9月3日(日)、第10回目となる『がん検診啓発行進』を三越定禅寺通り前から藤崎青葉通り前まで実施しました。9月は台風の発生件数がとても多い月なので、当日になるまで天候が気になるところでしたが、写真の影を見ていただければお分かりになると思います。

最高の行進日和!がん征圧へ対する皆の気持ちを通じたのかもしれない。職員、職員の家族、宮城県、仙台市、宮婦連、がん検診受診率向上に向けた協定企業および関連企業の皆さんが一つになって「年に一度は、がん検診を受けよう〜!」、「大切な、あなたと一緒にがん検診」と大きな声でがん検診の大切さを街行く人に呼び掛けました。



市町村健康まつり

今年も、各地で市町村健康まつりが開催されています。

例年健康まつりは、10月～11月に集中して、ほぼ毎週のように開催されております。

トップは、登米市健康まつりが5月27日に開催され11月18日の栗原市健康祭りまで、計13日間開催されました。県民の健康に対する関心は、年々高くなり各地での健康まつりは、多くの来場者で賑わいました。

最近は特に乳がんの視触診模型の人气が高く、来場した多くの女性は乳がんの自己検診方法に聞き入っていました。

また、最近では小学生の来場も多く、がん教育の影響が出ているのかと思われます。

展示物は、疑似内視鏡体験、乳がん視触診模型、各種がんパネル、顕微鏡でのがん細胞、内臓当てクイズ、肺がん模型等数多くあります。是非とも、市町村で開催されましたら、お出かけください。



▲登米市健康まつり



▲山元町健康まつり



▲松島町健康まつり

第50回みやぎよろこびの会記念大会

みやぎよろこびの会は、昭和33年に宮城県対がん協会が創立して10年目の昭和43年に初代会長の黒川利雄先生の提唱により発足しました。胃疾患を早期に発見されて早期治療の恩恵を受け、更に5年以上健康で働いている人たちが一堂に集まり、お互いの健康を喜び合い、励まし合い、また今後、同じ体験をする人たちに助言、指導をしていく目的で始まった会は発足当初50人余りの人数でした。

その後、この活動に賛同した人々が、会員相互の健康管理と各種がん検診における早期発見・早期治療の重要性について、幅広く社会に訴え活動を行い、県内各市町村に「よろこびの会支部」を立ち上げ、ピーク時には30数支部1,500名余の会員を有する大きな患者会となりました。病気を克服した「生き証人」として、これまでの経験を生かしながら、がん検診の重要性、さらには未受診者への受診勧奨などの普及啓発に力を注ぎ、がん検診の受

診率向上に貢献をしてきました。

しかしながら、近年における個人情報保護法、市町村合併等などの社会情勢の変化、会員の高齢化、新規会員の減少等があり、現在は、8支部90名の会員で活動しております。発足当時としては非常に画期的な事で、「がん」イコール「死」という時代に、検診を受けて早期発見、早期治療を行えば今まで通りの生活ができるという事を発信した事は黒川先生の偉業だったと思います。

この黒川先生のDNAが絶えることなく半世紀50年の月日が経ち、みやぎよろこびの会は、平成29年9月1日に創立50周年を無事に迎える事が出来ました。

10月20日季節外れの台風が近づく中、みやぎよろこびの会50周年記念大会が仙台市駅前のホテルモトレ仙台にて開催され、例年に無い60名を超える会員が県内各地から出席されました。

今大会では、特別記念講演として、(公財)宮城県対がん協会会長の久道先生に「がん検診こぼれ話」と題してご講演をいただきました。創設当時の貴重な写真や海外での胃がん検診を行っている様子、近藤誠医師との「がん検診百害あって一利なし」問題、「がん検診の有効性評価に関する研究の報告」等、60年に亘るがん検診に係る貴重なお話を伺いました。

また、これまでに当会の発展に寄与した、各支部の支部長をはじめ、事務局として、ご尽力いただいた市町村が表彰されました。

招待者の中には、よろこびの会の事務局を担当した、往年の協会職員の方々の出席もありました。今回は、記念大会でもあり、会を盛り上げていただく為に、TV、ラジオ等で有名な民謡歌手の庄司恵子さん、宮城大学の学生によるすずめ踊りのアトラクションを交え盛大に行われました。

また、会員からも、歌や踊りが披露され、記念大会に相応しい、大黒舞が丸森支部の会員さんにより行われ、お餅も振る舞われました。皆さんのテンションはうなぎ上りで、お楽しみ抽選会には最高潮となりました。

最後に参加者全員で記念撮影を行い次回再開を祈念して家路へと向かいました。



第7弾!! この課にチューモク

今回は、経理課経理係と医事係を紹介させていただきます。

経理課 経理係

経理係は、現在4名で業務を行っております。経理係の業務は、協会事業の目標達成のために経営資源となる様々なものを数値化して経営に反映することが目的です。

日々・月次・年間の業務があり、毎日仕入や売上等の様々な書類が届きます。毎月何百、一千という数になります。一枚一枚整理するのですが、1円の誤差も許されません。細心の注意と根気強さが必要です。数字は正直で間違いがあれば、どこかにズレが生じます。そんな時は、数字が夢に出てくることもあります。

また管財業務として、建物や医療機器等の整備のほか、空調の不具合や蛍光灯の交換等の修繕管理も行っております。



これからも、受診者の皆様が安心して当協会の検診を受けていただけるよう、受診環境の整備と充実を経理係の業務から反映していきたいと思ひます。

医事係

医事係は、検診センターの総合受付として、各種検診の受付、会計、代表電話のとりつぎ、紹介状の作成、郵便物や宅配物の受取りや管理、その他細かな業務を7人で行っております。シフトは、胃間接受付、生活習慣病健診受付、カウンターでの会計、会計作成、内勤業務に分けられますが、受診者数が多く一人で担当することが難しい時は、内勤の人がそれぞれ補助として入ります。週の殆どは7:00、7:30、8:00の早出勤です。検診の内容も日によって異なるので、特に検診が多く入っている日は課員皆、フルパワーで動き回ります。



検診センターの顔でもある総合受付は、受診者の方と直接接するところなので、不安な気持ちで来協する方々に、親切で温かみのある対応を心がけています。課員皆、お互いに助け合いの精神を持ち、和やかな雰囲気の中、看護課などの関係部署との連携をスムーズに対応し業務を遂行するように心がけています。

健康へのススメ

運動不足を感じている方必見!
誰でも気軽にできる「ながら」体操

外もも上げ



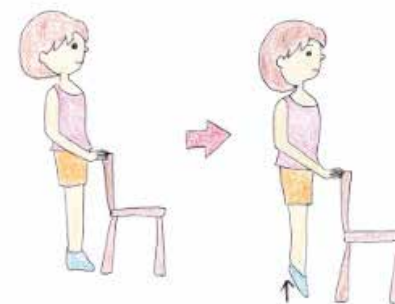
ゆっくり上げ下げする

ひざ伸ばし



息を吐きながら膝をのばす

つま先立ち



息を吐きながら4秒かけて

ふくらはぎのストレッチ



後ろ足のかかととは浮かさずに

忙しくてなかなか運動できない方も、気軽にできる体操です!
1日約10分、毎日コツコツ続けてみましょう(^ ^) //

がん・生活習慣病健診

(半日・人間ドック)

ここが
違う!

がん検診発祥の地

宮城県対がん協会の人間ドック3つの特徴!

- ①高い早期がん発見率 ②専門医による診断 ③一貫したデータ管理

上手に
受ける

人間ドック5つのポイント!

- Point 1 30代からが健診年齢
Point 2 年に一回は必ず受ける!
Point 3 「精密検査」を怖がらない(精密検査も必ず受ける!)
Point 4 健診結果を生活習慣改善に生かす
Point 5 結果の管理は健康管理の基本



検査コース

- 1 がん・生活習慣病健診 (半日・人間ドック) コース
- 2 全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診コース
- 3 定期健康診断コース

オプション検査

- 低線量肺CT検査(40歳以上)
- 内臓脂肪測定
- 喀痰細胞診検査
- アルコール体質検査
- C型肝炎ウイルス検査(血液検査)
- ピロリ菌抗体・ペプシノゲン検査
(胃の健康度判定:血液検査)
※これで胃がんを発見できるわけではありません。
- 前立腺がん検診
- 骨粗鬆症検診
- 眼圧検査

※低線量肺CT検査、子宮頸がん検診、乳がん検診は予約が必要ですので事前にご確認下さい。

女性のためのオプション検査

- 子宮頸がん検診
- 乳がん検診
- 30歳～39歳 超音波検査
- 40歳～64歳 マンモグラフィ2方向撮影
- 65歳～ マンモグラフィ1方向撮影

※年代により検査項目・料金が異なります。

受診の手順

- ① お申込み
- ② 受診票(問診票)の送付
- ③ ご自宅で採便・受診票の記載
- ④ 健診受診
- ⑤ 結果通知



※お申込み・お問い合わせは

計画課 へお願いします。

TEL 022-263-1535

E-mail keikaku@miyagi-taigan.or.jp

ご寄付をいただいた法人・個人

2017年6月1日～2017年11月30日受付分
順不同・敬称略

■篤志寄付金

阿部洋、女川町、佐藤秀逸、齋藤佐、街頭活動委員会、櫻井征夫、西川一枝、佐々木茂、涌谷町、渋谷大助

■黒川基金

加藤秀則、石川司之、及川貴司、山口マイケルB.利雄

■新検診センター建設基金

久道茂、石川司之、及川貴司

■特定維持会員

コヤマリネン株式会社、株式会社ビー・プロ、イシイ株式会社、有限会社タノウチ印刷、小林クリエイト株式会社東北営業部

■賛助会員 (議会)

塩竈市議会、名取市議会議員会、多賀城市議会、蔵王町議会、大河原町議会議員互助会、村田町議会、柴田町議会、丸森町議会、亘理町議会議員会、山元町議会、松島町議会、利府町議会、大郷町議会、富谷市議会、大衡村議会、色麻町議会、美里町議会、栗原市議会、東松島市議会、南三陸町議会、石巻市議会議員会

岩沼市議会：布田恵美、森繁男、国井宗和、沼田健一、須藤功、植田美枝子

大和町議会：今野善行、浅野俊彦、千坂裕春、渡辺良雄、門間浩宇、槻田雅之、藤巻博史、平渡高志、堀籠英雄、高平聡雄、馬場久雄、中川久男、堀籠日出子、大須賀啓、千坂博行、今野信一、犬飼克子、馬場良勝

涌谷町議会：竹中弘光、佐々木敏雄、佐々木みさ子、稲葉定、大友啓一、只野順、後藤洋一、久勉、杉浦謙一、門田善則、大泉治、鈴木英雅、遠藤釈雄

■賛助会員 (法人)

アフラック仙台総合支社、熱海建設株式会社、(株)イメージパーク、石巻商工会議所、有限会社上杉会計事務所、(有)おでん三吉、株式会社小田島、奥山工業株式会社、勝山企業株式会社、カメイ株式会社、上西産業株式会社、カイリク株式会社、(株)銀座薬局、クレア工業株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社小山商会、気仙沼商工会議所、笹氣出版印刷株式会社、(株)三陸新報社、株式会社佐々直、(株)三株園茶舗、株式会社佐藤製線所、株式会社佐浦、株式会社白松がモナカ本舗、(株)ショクテン、塩釜商工会議所、志津川オリエント工業株式会社、仙台商工会議所、仙南信用金庫、株式会社仙台カントリークラブ、仙台弁護士会、仙台ガス保安工事(株)、宮城中央ヤクルト販売株式会社、武田雅比人、ツバキ薬局、東北放送株式会社、学校法人東北工業大学、株式会社東北プリント、東北総合信用保証株式会社、アルプス電気株式会社、東北特殊工業株式会社、東北福祉大学、東北共栄建設株式会社、常盤洋紙株式会社、常盤化工株式会社、日本製紙株式会社石巻工場、株式会社ウェルネス伯養軒、東日本興業株式会社、宮城商事株式会社、株式会社ひまわり薬局、(株)藤崎、(株)文化堂、有限会社ふじや千舟、古川商工会議所、株式会社リバーヴ、松林商事株式会社、松田産業株式会社、宮城県中小企業団体中央会、宮城十條林産株式会社、株式会社宮城テレビ放送経営推進部、宮城県宅地建物取引業協会、宮城石灰工業株式会社、学校法人朴沢学園、株式会社メガネの相沢、株式会社渡辺採種場、ワタヒョウ株式会社、涌谷観光株式会社、有限会社アツミ自動車、株式会社ヨコハマタイヤサービス東北、カメイ物

流サービス株式会社、株式会社羽田電機工業所、七十七コンピュータサービス株式会社、株式会社ダイコクワ、宮交自動車整備株式会社、東興産機株式会社、仙台和光純薬株式会社、株式会社石井組、宮城県自動車事業協同組合、株式会社佐々啓、仙台画像検診クリニック、ダスキントカハシ、東日本メディカルシステム株式会社、株式会社ディーバイス、公益社団法人仙台市防災安全協会、東北鉄骨橋梁株式会社、マルニ食品株式会社、(株)新日電業商会、気仙沼窯業株式会社、菅基建設株式会社、石巻信用金庫、株式会社渡會、若生工業株式会社、有限会社サトー孔版印刷、大和証券(株)仙台支店、青葉緑化工業株式会社、株式会社あさひ、(有)三治郎旅館、株式会社イト、(有)五橋商事、暁星園、学校法人明和学園いづみ高等支援学校

■賛助会員 (農協)

JAみやぎ女性組織協議会、宮城県農業協同組合中央会、宮城県農村健康管理推進協議会、みやぎ仙南農業協同組合、名取岩沼農業協同組合、みやぎ亘理農業協同組合、あさひな農業協同組合、JA仙台、みやぎ登米農業協同組合、(株)ジェイエイ仙南サービス

■賛助会員 (医師会)

仙台市医師会：星曠夫、阿部信彦、相田内科医院、荒井秀夫、阿部慎哉、伊藤益次、井上廉、猪股紘行、井上重夫、大滝忠、泉ヶ丘クリニック、今井克彦、五十嵐稔、遠藤文雄、大澤寛寿、岡村けい子、小野寺英朗、大山明、伊藤賢司、遠藤潔、貝山仁、角安雄、桂内科・こどもクリニック、北川正伸、北村龍男、熊谷均、草野仁、小林眼科医院、古賀詔子、小林正資、佐藤裕也、佐藤弘房、佐藤茂、白根昭男、庄司眞、仙台オープン病院、佐藤玄徳、椎葉健一、齋藤親弘、高柳義伸、多田和弘、武山恒男、千葉守、千田典男、高橋克、武田鐵太郎、豊田隆謙、長池文康、長島道夫、中條仁、名倉宏、長谷川桂子、長谷川純男、早坂得良、河原町病院、福田陽一、堀克孝、堀田内科、藤田直孝、町田晶子、宮田隆光、森俊彦、師研也、森元富造、安田病院、湯村医院、結城豊彦、結城隆俊、山口正人、今村茂、渡邊睦生、妹尾重晴、今井克忠、榛澤清昭、樋渡信夫、山形倫、曾根眞一郎、今野豊、大方俊樹、今村幹雄、宮崎豊、本島正、猪岡英二、山口尚、作山昌則、吉田仁秋、丹野恭夫、かかず整形外科、新井宣博、和田裕子、中嶋俊之、工藤洋平、日向野修一、松田恵三郎、津田克二、村口喜代、小松田辰郎、西坂和喜夫、仙台赤十字病院、柴原義博、若林浜田クリニック、仙台東脳神経外科病院、東北医科薬科大学病院、岡村州博、古川加奈子、太田憲道、熊谷榮雄、広瀬病院、武者盛宏、南中山内科クリニック、高橋剛、長崎裕、医療法人ならの杜、仙台厚生病院、綿谷秀弥、結城産婦人科医院、矢田部宏一、一般財団法人広南会、佐藤彰、神裕子、齋藤創、佐藤勤、内田直樹、馬場安彦、清水雅行、仙台南病院、笠井豊、仙台腎泌尿器科、角田英樹、五十嵐草、秋元弘治、永沼昭太郎、只木行啓、助川泉、遊佐明、永井幸夫、山本克哉、山本眼科、氏家裕明

白石市医師会：三浦義邦、浅野俊弘、梅津佳英、小松和久、公立刈田総合病院、大泉記念病院

柴田郡医師会：みやぎ県南中核病院、河内三郎、(医)玉川、みやぎ県南医療生活協同組合、佐藤和宏、宮上順志、川崎病院、平井完史、庄司則文、安田京

角田市医師会：同済病院、高山敦、安藤正夫、小川整形外科クリニック、医療法人本多友愛会、ウイメンズクリニック金上
塩釜医師会：赤石病院、池野暢子、今井信行、岩井修一、氏家紘一、小野寺医院、及川潤一、大井知教、金俊夫、齋恒夫、坂総合病院、塩釜医師会消化器部会、塩竈市立病院、鈴木室生、関晴夫、関口内科胃腸科医院、仙塩利府病院、高橋晋、高橋輝兆、富永泰之、鳥越紘二、中山大典、林義峰、平澤内科医院、藤谷浩、本間医院、松下真史、松島病院、宮城利府掖済会病院、無量井泰、山田耕道、山田憲一、渡辺広己、黒澤久三、菌部太郎、鈴木ヒトミ、涌坂俊明、遠藤英敬、小片邦穂、藤原竹彦、真栄平昇、横山義正、高橋裕一、角田和彦、鈴木隆志、佐々木泰夫、大井嗣和、加瀬クリニック、じょうなんファミリークリニック、杉山幸一、沖津尚弘

亘理郡医師会：熊谷明、三上雅嗣、三浦俊治

名取市医師会：名取中央クリニック、丹野兼夫、金澤義彦、小林芳江、田勢亨、桑島一郎、曾我良輔、佐藤滋、丹野尚昭、佐藤滋彰、佐々木晴那、片倉隆一、佐々木英彦、あいのもりクリニック、原田雄功、星勝彦

黒川医師会：公立黒川病院、大平千秋、富谷中央病院、吉永ひろ子、田山利幸、遠藤敦、吉岡QQクリニック

加美郡医師会：伊藤健太、鈴木内科医院、加美郡保健医療福祉行政事務組合、鈴木啓之、佐々木胃腸科、大山匡

大崎市医師会：木幡光彰、佐藤和朗、森啓之、大崎市民病院岩出山分院、小野寺敦、(医)渋谷皮膚科泌尿器科医院、大崎市民病院鹿島台分院、大崎市民病院、近江徹廣、宮下英士、古川星陵病院、岩渕仁寿、渡辺外科胃腸科医院、佐藤寛、沼田功、高橋郁朗、星眼科医院、有馬和夫、鎌田修二
遠田郡医師会：野崎病院、佐々木和義、美里町立南郷病院、熱海医院、袖井文二、涌谷町国民健康保険病院
桃生郡医師会：加藤玲子、真壁病院、伊東胃腸科内科、河野秀信

石巻市医師会：阿部洋一、相沢正俊、伊藤健一、川村尚道、小林龍夫、佐藤信男、坂井武昭、高橋邦明、舘田治、二宮健次、箕田紳一郎、矢崎重彦、田中典和、石巻赤十字病院、久門俊勝、川原田博章、千葉淑朗、荒井啓史、佐藤純、佐藤清壽、高屋りさ、山本博尚、石塚圭一、矢吹法孝、古山元之、千葉淳

登米市医師会：佐藤厚史、登米市病院事業管理者、湊敬一、八嶋中央診療所、遊佐不三雄、登米市立豊里病院、菅原盛家、田中悟、三浦守正、登米市立よねやま診療所

栗原市医師会：(医)達内科、栗原市立栗駒病院、佐藤政子、栗原市立栗原中央病院、渡邊泰、栗原市立若柳病院、菊田公一、三浦正明、宮城島堅、佐藤尚

気仙沼市医師会：移川哲、遠藤紘、大里篤志、葛但寛、森田潔、大友亮、森良一郎、猪苗代盛貞、小高庸一郎、気仙沼市立本吉病院、三条雅英、村岡正朗、小林直樹、笹原政美、菊地淳一、小松孝男、あいざわクリニック

岩沼市医師会：丹野哲子、青木恭規、有田大作、中川榮子、山本クリニック、緑の里クリニック、町田幸雄、板橋隆三、星和彦

■**みやぎよろこびの会**

伊藤寛子、青柳淑子、佐々木春子、小野昭子、後藤ふじゑ、我妻倉吉、大泉ちね子、大塚吉雄、菅野セツ子、千石よし子、林蕙、石川司之、萬里崎吉政、大友キクエ、櫻井一男、江刺公子、木村俊子、佐藤美千子、小野寺久幸、我妻百合子、浅井壽子、石川りよ、古澤喜造、中川ユリ

■**賛助会員（宮婦連）**

七ヶ浜町婦人会：鈴木弘子、伊丹はるの、佐藤民恵、千葉志美枝、三島知恵子

一迫婦人会：氏家あい子、菅原きよみ、曾根眞子、熊谷初美、三浦一子

岩出山婦人会：菅原玉枝、加藤志美江、工藤信子、佐々木好美、大場恵美子、武内はるみ、武内幸子

岩沼市婦人団体連絡協議会：高橋たづよ、小関寛子、相原好子、小貫英子、加藤ち江子、櫻井よしみ、富田みや子、長田昌子

鶯沢婦人会：千葉たつ子、熊谷靖子、菅原キクミ、小野寺とし子、菅原美智子

女川町婦人会：飯塚律子、阿部とまえ、阿部苑子、岸サワ子、小山栄子、高橋京子、伊藤文子、鈴木信子、東海久美子、遠藤悦子、勝又菊枝、木村佳代子、梁取礼子、平塚文子

西小野田婦人会：三嶋文子、高嶋信子、渡辺栄

大衡婦人会：遠藤つや子、堀籠幸子、崎山イエ子

大郷町婦人連絡協議会：高橋一子、赤間英子

角田市地域婦人会：鎌田三千子、遠藤美代子、中畑繁子、玉手富美子、加川昭子、保志都、保志とみ子、村上幸子、白戸千代子、太田恵美子

鹿島台婦人会：今野勝千代、小堤キエ子、久道力ヨ子、金澤とよの、阿部百合子

金成婦人会：千田京子、渡辺和子、石川昌子、鈴木美千代

階上婦人会：川村和賀枝、小山光子、前田若代、畠山幸子、小野寺美津子

松岩婦人会：鈴木玲子、熊谷洋子、内海みち子、小野寺信子、千葉享子

大島婦人会：白幡やしよ、村上さつ子、白川好子

遠田郡婦連：瀧川澄江、大村涼子、中村ゆり子、菊地千恵子、鑑清枝、駒米ナツ工、栗野トシ子

田尻婦人会：秋山満子、高泉トミ子、鎌田涼子、宮川マサ子、松野かつ子、高橋道子、佐藤紀子、畑山信子、鈴木静子、鈴木信子

栗駒婦人会：菊地壽美子、菊池清子、佐藤かち子、佐藤すみ子、阿部久子

塩釜市婦人会：浅野ひろ子、菅原モリ子、我妻キクエ、佐々木和恵、中村和子、石川とし子、三浦あいこ、内海みな子、小野和恵、阿部豊子、鈴木綾子、田中さよ子、千葉知子、林富子、岩田みち子、山野摩里子、高橋多賀子、菅野智子、小野秀子、中野チエ、大山とみの

柴田郡婦連：竹野幸子、水戸和子、遠藤勝江、八巻まし子、森恵子

永野支部婦人会：佐藤ひさ代

志波姫婦人会：相馬桂子、高橋俊子、三浦末枝、菅原峰子、千葉美恵子

白石市地域婦人団体連絡協議会：大森りつ、吉川淑子、太田さき子、斎藤ゆう子

白石市婦人会：栗原幸江、石川照代、佐藤晴代、堀道子、長谷川治子、村上たき子、草野いく子、笠原修子、横山亜衣

色麻婦人会：佐々木りえ子、斉藤都志子、千葉としえ

築館婦人会：菅原英子、高橋則子、長谷川美子、鈴木由紀子

豊里婦人会：八木しみ子、大友秀子、遠藤しみ子、只野好子、芳賀芳枝

多賀城市婦人会連合会：渡辺とめ、櫻井やえ子、松田充子、平山千秋、渡辺ゑな子、星繁子、庄子よし江、平山照司、

鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、千葉みつ子、大友良子、鈴木誠子、小野くに子、西とし子、後藤愛子、加藤たき子、後藤みよ子、笹原うた子、菊田百合子、江釣子真理子、阿部純子、渡辺あや子、菊地きみ子、根本菊江、門田昭子、佐藤正美

大和町鶴巣婦人会：馬場郁子、千坂かつえ、櫻井すみ子

大和町吉岡婦人会：馬場ふみ子、浅野洋子、佐々木登志子

大和町宮床婦人会：浅野よし江、浅田レイ子、貝田美喜子

大和町吉田婦人会：堀籠さと子、早坂真知子、堀籠美江子

名取市婦連：渡邊勝子、三浦よね子、佐藤久子、本郷セイ子、江口清子、渡辺洋子、高橋志津枝、大久あき子、高橋ケサエ、庄司俊子、守智恵、佐藤元恵、三浦妙子、武山みち子、村上禮子、浅倉朝子、館腰婦人会

中新田婦人会：芳野禮子、佐々木妙子、中島智江

花山婦人会：千葉ゑさ子、菅原加津子、千葉妙子

古川地婦連：大友富子、鈴木ゆう子、菅原末子、熊谷弘江、佐々木登貴子、永塚正子、西村信代、晴山たえ子、阿部みえ子、木村一枝、木村洋子、高橋輝美、佐々木之子、門脇宗子、鹿野孝子、紺野京子、高橋ますゑ、佐々木重子、我孫子妙子、三浦博子、菅原十四四、高橋せい子、佐藤とし子、浜田美知子

松山婦人会：佐々木あい子、大友紀、川江礼子、小野政子、小関裕子、齋藤京子、早川つね子

宮崎婦人会：米澤幸子、笠原文子、鈴木尚子

筆甫婦人会：目黒登美子

大内婦人会：森れい子、作間スエ子

小斎婦人会：天野八重子

大張婦人会：大槻静江

丸森婦人会：上村文子

館矢間婦人会：塚原るり子、横山ちまよ、佐藤伸子、佐藤初子、佐藤瑞枝、菊池友子、和田百合子、永橋節子

米山婦人会：佐々木邦子、三浦きさ子、高橋ひさよ、橋本栄子、後藤直子、菅原清子、佐々木和子

利府町婦人会：峯岸悦子、貝山昭子、品部陵子、加藤祐子、遊佐和枝、伊藤みつ子、小林いく子、佐藤ちよ、堀越つめ子、小山田律子、阿部まさ子、田辺史子、佐藤幸子、伊藤千枝、佐々木順子、木村みゆき、布施明子

東松島市大塩婦人会：眞籠聖子、須田栄子、高橋沙代、高橋和子

東松島市矢本婦人会：三浦絢子、相澤数子、三浦亨子、佐藤豊子、津田美枝子、豊島敬子、浅野美枝子、田中敬子、木村礼子、後藤伊都子、阿部輝子

荒浜婦人会：濱野かじ子、阿部みや子、穴戸都賀子、馬場道子、橋本貞子、佐藤富美子、武者信子、森恵子、永浜由紀子、渡部とし子

亘理婦人会：若松捷子、佐藤キクヨ、渡辺みつ江、高橋泰子、齋藤クニ、岩見富子、三戸部とし江、小野寺貞子、太細田出美、戸引よし子、相原成子、佐野みさゑ、馬場さえ子、佐藤照子、斉藤みよ、佐藤徳子

達隈婦人会：八巻富士子、渡邊禮子、三品せつ、佐藤祐子、猪又和子、菱沼和子、三品美智子、渡辺芳、遠藤佳子

吉田婦人会：本間利子、穴戸浩子、岩佐美津子、岩佐直子、丸子加代子、齋藤律子、丸子信子、丸子きみ子、森美奈子、小野典子、川崎カツ子、丸子峰子、渡部とも子

■**賛助会員（個人）**

大飼健郎法律事務所、越後愛子、織田信夫、尾坂芳夫、亀岡直樹、北村優、黒川平司、小松亀一、佐藤孝之助、坂田雄一郎、櫻田良子、志賀宣子、鈴木昭子、菅井正治、鈴木ハツコ、鈴木セツ子、曾根サイ、藤代大、大井襲充、三島卓郎、亀山省吾、嶋美香、阿部利子、我妻幸充、丹治静、山口正彦、阿部せつ、笹原啓子、後藤みよ子、門間典子、久保田光子、菅原きよ子、三浦みよ子、五島さよ子、土井敏暉、安住泰子、阿部美津江、渥美ヤエ子、佐々木博司、関口清、郡山芳治、鈴木八郎、櫻田寛、櫻田孝子、菊池世津、亀山喜美子、丹治嘉興子、盛田美樹、湯田教恵、井上眞由美、布田直樹、中川朋美、三部哲也、阿部洋、鈴木里恵、高橋是清

賛助会員（個人・法人の継続寄付）募集中

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究、がん登録管理等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の**「所得控除」と「税額控除」のいずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、**「特定公益増進法人」**に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。

《寄付金の種類》

■**賛助会員寄付** 協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)
法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
■**篤志寄付** 協会の活動に対する一時的な寄付金
■**黒川基金** 黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人 宮城県対がん協会 法人事業課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30 TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548
ホームページアドレス http://www.miyagi-taigan.or.jp

「黒川利雄がん研究基金」

研究助成金希望者募集

この基金は、当協会の初代会長である故黒川利雄先生の遺志を継ぎ、がんの予防及び早期発見、治療に関する技術の開発等に係わる若手研究者に対し、研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されました。

平成29年までに、116人に対し7,570万円の助成金を交付しています。

1 研究対象分野と応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

- (1) がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発
- (2) がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

2 申請手続き

申請者は宮城県対がん協会の理事または、貴所属長の推薦を受けた者とする。

3 応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

4 助成金の額

助成総額は220万円とし、研究助成金1件あたり100万円を限度とする。

5 応募手続

応募希望者は下記宛にハガキまたはFAXで申し込むか、当協会ホームページより申請書類をダウンロードの上申し込むこと。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛
TEL 022-263-1637 FAX 022-263-1548 <http://www.miyagi-taigan.or.jp>

6 募集期日

公 募 平成30年1月

募集締切り 平成30年3月末日

7 発表交付

発 表 平成30年5月

交 付 平成30年6月